

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度(1学年用)

教科 国語

科目

現代の国語

教科： 国語

科目： 現代の国語

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者： (1組：小野寺 2組： 間杉 3組：小野寺 4組：小野寺 5組：手塚 6組：間杉 7組：間杉 8組：手塚)

使用教科書： (筑摩書房 現代の国語

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 0

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標			指導項目 ・内容	領域		評価規準			知	思	態	配当時数		
					語 ・ 聞	書 ・ 読							語 ・ 聞	書 ・ 読	読
1 学期	A 単元 文獻購読入門			○指導事項 ・要約 ・文獻検索	○	A 単元 文獻購読入門			○	○	○			4	
	知識・技能 要約や文獻購読という、実社会に必要な知識や技能を身に付ける。	思考力等 随筆という種類を踏まえ、内容や構成について、叙述を基に的確に捉えること。	学びに向かう力 ND Cや概念マップを活用し、関連分野について、様々な観点から情報を収集、整理しようとする	知識・技能 出典を示す際に必要な情報を理解している。		思考力等 教材の要旨や表現の特徴を適切に読み取ることができる。	学びに向かう力 ある問題について主体的に課題を設定し、関連する資料を探そうとしている。								
	B 単元 論文読解入門・近代とは何か			○指導事項 ・近代とは何か	○	B 単元 論文読解入門・近代とは何か			○	○	○		4		
	知識・技能 論文読解の基礎や言語学に関する基礎的な知識を身につける。	思考力等 具体例の効果などの表現や構成を的確に捉え、要旨を把握できる。	学びに向かう力 近代について理解しようとし、その知識を表現や理解に活かそうとしている。	知識・技能 言語学の基本的な考え方を理解している。		思考力等 要旨や表現の特徴を適切に読み取れている。	学びに向かう力 近代について関心をもち、理解しようとしている。								
	定期考査									○	○		1		
	C 単元 論文執筆入門・科学的なものの見方			○指導事項 ・科学的なものの見方	○	C 単元 論文執筆入門・科学的なものの見方			○	○	○		9		
知識・技能 論文読解や言語学に関する基礎的な知識を身につける。	思考力等 標準的な構成で自分の考えを論理的に論述できる。	学びに向かう力 筆者の主張や意見を読み、理解しようとしている。	知識・技能 身体論・近代論の基本を理解している。	思考力等 考えを論理的に論述することができる。		学びに向かう力 工夫して論述しようとしている。									
定期考査									○	○		1			
D 単元 口頭発表 基礎			○指導事項 ・口頭発表の基本的な方法	○	D 単元 口頭発表 基礎			○	○	○		4			
知識・技能 口頭発表の基礎的な方法を理解する	思考力等 表現や構成を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。	学びに向かう力 要約や文獻購読という、実社会に必要な技能を身に付ける。	知識・技能 発表方法の基礎を理解している。		思考力等 構成や表現に工夫して発表できる。	学びに向かう力 考えが伝わるよう工夫して発表しようとしている。									
2 学期	E 単元 論文読解・文化論			○指導事項 ・文化・コロナリズム	○	E 単元 論文読解・文化論			○	○	○		8		
	知識・技能 論文読解や科学論・社会論に関する基礎的な知識を身につける。	思考力等 表現や構成を的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。	学びに向かう力 筆者の主張や意見を読み、理解しようとしている。	知識・技能 科学論・社会論の基本を理解している。		思考力等 要旨や表現の特徴を適切に読み取れている。	学びに向かう力 筆者の主張や意見を読み、理解しようとしている。								
	F 単元 文学作品に関する論文執筆			○指導事項 ・文学研究の基礎用語	○	F 単元 文学作品に関する論文執筆						3			
	知識・技能 文学研究に関する基礎的な知識を身に着ける。	思考力等 表現や構成に工夫をして文学作品についての考えを論理的に書ける	学びに向かう力 既習の知識を生かして書こうとしている。	知識・技能 文学研究に関する基礎知識を理解している		思考力等 自分の考えを論理的に論述することができる。	学びに向かう力 既習の知識を生かして書こうとしている。								
	定期考査									○	○		1		
	G 単元 論文読解・グローバリズム・多様性			○指導事項 ・グローバリズム・多様性	○	G 単元 論文読解・グローバリズム・多様性			○			9			
知識・技能 論文読解や科学論・社会論に関する基礎的な知識を身につける。	思考力等 表現や構成を的確に捉え、要旨や要点を把握することができる	学びに向かう力 筆者の主張や意見を読み、理解しようとしている。	知識・技能 社会論、とくに民主主義の基本を理解している。	思考力等 要旨や表現の特徴を適切に読み取れている。		学びに向かう力 筆者の主張や意見を読み、理解しようとしている。									
H 単元 文体を意識して書く			○指導事項 ・「話し言葉」と「書き言葉」の違い	○	H 単元 文体を意識して書く			○			2				
知識・技能 文学研究に関する基礎的な知識を身に着ける。	思考力等 表現や構成に工夫をして文学作品についての考えを論理的に書ける	学びに向かう力 既習の知識を生かして書こうとしている。	知識・技能 文学研究に関する基礎知識を理解している		思考力等 自分の考えを論理的に論述することができる。	学びに向かう力 既習の知識を生かして文学論を書こうとしている。									
定期考査									○	○		1			
3 学期	I 単元 論文読解・現代と情報			○指導事項 ・現代と情報	○	I 単元 論文読解・現代と情報			○	○	○	9			
	知識・技能 論文読解に関する基礎的な知識を身につける	思考力等 表現や構成を的確に捉え、要旨や要点を把握することができる	学びに向かう力 本文に関連する具体例を考えながら、要旨について理解しようとしている。	知識・技能 論文読解に関する基礎的な知識を身につける。		思考力等 要旨や要点を把握して文章を比較することができる	学びに向かう力 関連する具体例を考えながら、要旨を理解しようとしている。								
	J 単元 小論文執筆 詩歌			○指導事項 ・小論文執筆	○	J 単元 小論文執筆 詩歌			○	○	○	4			
	知識・技能 論文を書く際の基本的な表現や構成を身に着ける	思考力等 表現や構成に工夫をして自分の考えを論理的に書ける	学びに向かう力 表現や構成に工夫をして自分の考えを論述しようとしている	知識・技能 論文を書く際の基本的な表現や構成を身に着ける		思考力等 1000字程度で自分の考えを論理的に書き表すことができる	学びに向かう力 表現や構成に工夫をして自分の考えを論述しようとしている								
									○	○	○	合計 13 26 17 合計 56			

2 单位

1 学年

(1組：小野寺 2組： 間杉 3組：小野寺 4組：小野寺 5組：手塚 6組：間杉 7組：間杉 8組：手塚)

筑摩書房 言語文化

の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

[illegible]

令和5年度 授業実施計画書

学 年	3 年	組	科目担当者
教 科 名	国 語	1	藤野 純子
科 目 名	現代文B	2	藤野 純子
単 位 数	3	3	酒井 朱夏
必修選択区分	学校必修修	4	酒井 朱夏
使用教科書	精選現代文B (東京書籍)	5	齋藤 仁博
使用副教材	新現代文単語、大学入試漢字TOP2000 (いづな書店)	6	小野寺 亜希子
	新国語総合ガイド 五訂版 (京都書房)	7	齋藤 仁博
		8	門 愛子

学習の目標	1 学期	・ 評論文＝論理展開を基にした要旨を捉え、まとめなおすことができる。 ・ 小説＝作品の表現やその効果から主題を考え、まとめなおすことができる。 ・ 詩歌＝作品の表現やその効果から主題を考え、まとめなおすことができる。
	2 学期	・ 抽象的な問題を解くことによって、現代の社会や人間のあり方について考えをまとめることができる。 ・ 記述問題の答案作成の方法を習得することができる。
	3 学期	・ 今までの授業で学んだことを生かし、入試問題演習を通して様々なジャンルの文章に触れ、記述問題に的確に答え、また自己添削することができる。
担当者からのコメント		・ 大学入試を突破する「国語力」を身につけるだけでなく、AⅠの進展に代表されるような、変化の激しい時代に対応できる「思考力・判断力・表現力」を養って欲しい。

成績評価	観点	1. 小説における登場人物の心情を論理的に理解し、主題を考え、発表することができたか。 2. 評論文における論理的な文章の展開と筆者の主張を読み取ることができたか。 3. 問題演習等を通して「思考力・判断力・表現力」が身についたか。
	方法	1. 定期考査 2. 漢字・単語小テスト 3. 授業での発言や記述問題演習への取り組み

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	18	若林 幹夫「地図の想像力」 丸山 真男「『である』ことと『する』こと」	漢字・単語テストを週1回程度行う。
		期末	18	小川 洋子「トランジット」 高階 秀爾「日本人の美意識」 詩・俳句	
	2 学期	中間	21	小野 正嗣「文学の未来」 長谷川 権「平気一正岡子規」、詩・俳句	漢字・語彙力テストを週1回程度行う。 主に共通テスト対策の問題演習を行う。
		期末	21	入試問題演習	
	3 学期	学年末	27	入試問題演習	主に、本校の生徒が多く志望する大学の過去問題を扱う。

東京都立八王子東高等学校

令和5年度 授業実施計画書

学 年	3 年	講座	科目担当者
教 科 名	国 語	1	島田 弥生
科 目 名	古典B（古典）	2	間杉 麻衣
単 位 数	4	3	石黒 直子
必修選択区分	選択	4	島田 弥生
使用教科書	古典B 古文編・漢文編 改訂版（筑摩書房）	5	石黒 直子
使用副教材	完全マスター古典文法（第一学習社）		
	新明説漢文（尚文出版）		
	古文単語330（いづな書店）		

学 習 の 目 標	1 学 期	・ 2学年までの学習事項を使って、難度の高い古文漢文を読解できるようにする。 ・ 古典常識の理顔を深め、場面や人物の心情が理解できるようにする。 ・ 小テストや問題演習を通じて、基本事項を総復習し、知識事項の再確認をする。
	2 学 期	・ 教科書教材および記述問題演習を通じて、より高度な古文漢文を理解できるようにする。 ・ 読解と論述練習を通じて、作品を深く理解し、正確に現代語訳し、問に答える力をつける。 ・ 問題演習を多く取り入れ、入試問題に対応できる力を高めていく。
	3 学 期	・ 今までの授業で学んだことを生かし、入試問題演習を通じて大学受験に対応できる力を養う。
担当者からのコメント		文系の進学希望者向けの授業である。予習・復習は必須。問題演習では、初見の文章を読み解く力を養うとともに、本文や設問の解説を通じて、解答作成に習熟する。

成 績 評 価	観 点	1. 文法や古典常識の知識を生かして古文を読解し、場面や心情を理解して表現することができるか。 2. 句法や重要語の知識を生かして漢文を読解し、場面や心情、思想を理解し表現することができるか。 3. 学習してきたことを生かして、初見の文章に対応できる読解力を身につけることができたか。
	方 法	1. 定期考査 2. 小テスト 3. 問題演習への取り組み

授 業 計 画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学 期	中 間	24	・ 『源氏物語』母と子の別れ ・ 『源氏物語玉の小櫛』もののあはれの論 ・ 『荊軻伝』	古文・漢文それぞれ小テストを行い、基礎固めを行う。
		期 末	24	・ 王朝秀歌・『俊頼髓脳』鷹狩の歌 ・ 『無名抄』出で映えすべき歌のこと ・ 『李白』『杜甫』・諸子百家思想概略	
	2 学 期	中 間	28	・ 古文 『源氏物語』『紫式部日記』『無名草子』 ・ 漢文 漢詩「石壕吏」他「売油翁」 ・ 問題演習	補助教材を活用し、文法事項や和歌の解釈などに習熟させる。
		期 末	28	・ 問題演習（共通テスト対策、センター試験過去問題）	
	3 学 期	学 年 末	36	入試問題演習	センター過去問・難関大論述問題を中心に演習を行い、実力を養成する。

東京都立八王子東高等学校

令和5年度 授業実施計画書

学 年	3 年
教 科 名	国 語
科 目 名	発展古典B（古典）
単 位 数	4
必修選択区分	選択科目
使用教科書	精選古典B 古文編・漢文編（東京書籍）
使用副教材	完全マスター古典文法（第一学習社）
	必携新明説漢文（尚文出版）
	新国語総合ガイド五訂版（京都書房）

講座	科目担当者
1	齋藤 仁博・手塚 比目古
2	
3	
4	
5	
6	

学 習 の 目 標	1 学 期	- 教科書掲載の古文漢文を初見で読解できる。 - 古典常識を習得し、初見文章に応用させて文章を立体的に理解することができる。 - 問題演習を通じて、基本事項の確認をすることができる。
	2 学 期	- 教科書教材および記述問題演習を通じて、記述問題に対応することができる。 - 読解と論述練習を通じて、作品を深く理解し、素早く正確に現代語訳することができる。 - 入試問題に対応できる力を高めていくことができる。
	3 学 期	入試問題演習を通じて難関大学に合格できる力を身に付けることができる。
担当者からのコメント		難関国公立の問題を自力で書ききることができる力の習得を目指し、教科書を用いて授業を行う。徹底した読み込み復習を各自に求める。

成 績 評 価	観 点	1. 文法や古典常識の知識を生かして古文を読解し、場面や心情を理解して表現することができる。 2. 句法や重要語の知識を生かして漢文を読解し、場面や心情、思想を理解し表現することができる。 3. 学習してきたことを生かして、初見の文章に対応できる読解力を身につけることができる。
	方 法	1. 定期考査 2. 小テスト等 3. 問題演習への取り組み

授 業 計 画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学 期	中 間	24	古文 『源氏物語』須磨の秋・母と子の別れ 漢文 『李白』『杜甫』 大学入試問題演習(古文・漢文)	古文・漢文それぞれ 基礎固めを完成させ、応用力 を高める。
		期 末	24	古文 『源氏物語玉の小櫛』『俊頼髓脳』『無名抄』王朝秀歌 漢文 『荊軻伝』・諸子百家思想概略 大学入試問題演習(古文・漢文)	
	2 学 期	中 間	28	漢文 『唐宋八大家の文章』 大学入試問題演習(古文・漢文)	文法事項や和歌の基礎知識 を習得し、大学入試問題を素 早く解けるようにする。
		期 末	28	共通テスト演習・国公立大学論述問題演習	
	3 学 期	学 年 末	36	入試問題演習	旧センター過去問・ 難関大論述問題を中心 に演習を行い、実力を 養成する。

東京都立八王子東高等学校

令和5年度 授業実施計画書

学 年	3 年
教 科 名	国 語
科 目 名	古典B（理系古典）
単 位 数	2
必修選択区分	選択科目
使用教科書	精選古典B 古文編・漢文編（東京書籍）
使用副教材	完全マスター古典文法（第一学習社）
	必携新明説漢文（尚文出版）
	新国語総合ガイド五訂版（京都書房）

講座	科目担当者
1	齋藤 仁博
2	
3	
4	
5	
6	

学 習 の 目 標	1 学 期	- 教科書掲載の古文漢文を初見で読解できる。 - 大学入試問題を読解することができる。 - 基礎的・基本的な知識技能を習得することができる。
	2 学 期	- 記述問題演習を通じて、記述問題に対応することができる。 - 教科書掲載教材を素早く読解することができる。 - 国公立大学の入試問題を解くことができる。
	3 学 期	入試問題演習を通じて難関大学に合格できる力を身に付けることができる。
担当者からのコメント		東大京大レベルの問題を自力で書ききることができる力の習得を目指し、授業を行う。徹底した読み込み復習を各自に求める。

成 績 評 価	観 点	1. 単語・文法・古典常識の知識を生かして古文を読解し、場面や心情を理解して読解することができる。 2. 句法や重要語の知識を生かして漢文を読解し、場面や心情、思想を理解し表現することができる。 3. 学習してきたことを生かして、初見の文章に対応できる読解力を身につけることができる。
	方 法	1. 定期考査 2. 小テスト等 3. 問題演習への取り組み

授 業 計 画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学 期	中 間	12	古文 『源氏物語』 漢文 『李白』『杜甫』 大学入試問題演習(古文・漢文)	古文・漢文それぞれで問題演習を通じて、基礎固めを行う。
		期 末	12	古文 『俊頼髓脳』『無名抄』 漢文 『十八史略』 大学入試問題演習(古文・漢文)	
	2 学 期	中 間	14	漢文 『唐宋八大家の文章』 大学入試問題演習(古文・漢文)	補助教材を活用し、文法事項や和歌の解釈などに習熟させる。
		期 末	14	共通テスト演習・国公立大学論述問題演習	
	3 学 期	学 年 末	18	入試問題演習	旧センター過去問・難関大論述問題を中心に演習を行い、実力を養成する。

東京都立八王子東高等学校